

日本マススクリーニング学会  
会員の皆様へ

## 国際新生児スクリーニング学会誌 (International Journal of Neonatal Screening: IJNS) への投稿のお願い

このたび日本マススクリーニング学会では「*International Journal of Neonatal Screening (IJNS)*」を公式の英文雑誌とする契約を結びました。IJNS はこれまでも「International Society for Neonatal Screening (ISNS)」（国際新生児スクリーニング学会）、「German Society for Neonatal Screening (DGNS)」（ドイツ新生児スクリーニング学会）、「Association of Public Health Laboratories (APHL)-Newborn Screening & Genetics Program」（米国公衆衛生協会新生児スクリーニング部門）の公式ジャーナルとして採用されています。掲載料は 500 スイスフラン、約 5 万 5 千円ですが、IJNS と提携したことで、日本マススクリーニング学会員からの投稿は 10%ディスカウントとなります。

今回の公式採用を機に IJNS の **Topical Collection** として、日本のマススクリーニングの特集号「**Neonatal Screening in Japan**」を編集する運びとなりました。投稿論文は、日本のマススクリーニング研究を紹介する内容で、形態は原著論文、総説等でも構いません。長さも自由です。査読は通常通りに行われますが、特別に掲載料が免除となります。Topical Collection への投稿締め切りは 5 月末ですので、是非投稿をお願いします（5 月末までに投稿された論文は掲載料が無料になります）。

現在 COVID-19 パンデミック状況であり、国内はもちろん国外との交流が困難な時期です。しかし学会として、日本のスクリーニングの成果をグローバルに発信し、国際交流を行うことにより、学会のレベルの向上に努め、健康福祉の増進に寄与することは非常に大切なことです。

この機会にぜひ皆様の「*International Journal of Neonatal Screening*」への投稿をお願いいたします。オープンアクセスの雑誌ですので、投稿後、アクセプトされた論文は「*International Journal of Neonatal Screening*」のホームページ上の「*Topical Collection*」に順次掲載される予定です。その後、何らかの形で（小冊子あるいは e-book 等）まとめることも考えております。

2020 年 12 月

日本マススクリーニング学会  
Editor-in-chief 田島 敏広  
担当理事 山口 清次  
理事長 大浦 敏博

## 投稿規定

- 投稿規定の詳細は下記を参照にしてください。

Instruction for author

<https://www.mdpi.com/journal/IJNS/instructions>

- 投稿論文の字数についての制限はありません。不明な点は田島までご相談ください

[t-tajima@jichi.ac.jp](mailto:t-tajima@jichi.ac.jp)

- 「Topical collection」への投稿で掲載料が無料のサービスを受けられる期間は2021年5月31日です。その後の投稿での掲載料は450スイスフラン（約5万5千円、10%割引の料金）となります。

- 投稿の締め切りは無料のサービスを受けられる期間は2021年5月31日といたします。

以 上